

第5回浅川流域協議会 要旨

日時：平成15年10月9日（木）14:00~17:15

場所：長野県庁講堂

会員数157名 出席会員50名

新規会員（2名）の自己紹介

第4回流域協議会要旨について事務局から説明

第4回流域協議会において142水品会員から「河川改修区間の改修経緯と土砂堆積状況について」の質問が出され、事務局からパワーポイントにて説明。

討議（テーマ：流域対策原案に関する検討・審議）

流域対策原案に関する検討及び審議をして頂き、14名の会員の皆様から質問や提言があった。

出された質問、提言及び回答は以下のとおり。

今回は、10月27日（月）午後2時から古里公民館において開催することとなった。また、テーマについては、「内水対策及び千曲川」の関係について検討及び審議して頂くこととなり、17:15に閉会した。

第5回浅川流域協議会に出された質問、提言及び回答

・意見（142水品会員）「事務局の回答に対する意見」

平成10年（6年前）に工事が終わり、80cm土砂が堆積した。上流から土砂が流れてこないようにしてほしい。

・佐藤議長（座長）

20山口会員、115大内会員から前回、提案があった。これについて本人から説明等があればお願いしたい。

6竹内会員から「今までの協議会のまとめ」の提出があった。後日参考にさせて頂く。

・質問（137金井会員）

昔から水害を受けている。何とか流域対策と土砂流出防止対策をして欲しい。旧ダム計画の代替案として、檀田の遊水地は、2～3haでは小さいのではないか。河道内遊水地と併せて検討して頂きたい。

流域対策の実現には、20～30年と言われているが、早くやって頂きたい。

ダム建設を前提にした、浅川への流入による住民との約束がある。SBC通り地下水

路～吉田高校北での流入。眼鏡橋付近での流入。新幹線車両基地建設時の約束がある。

・回答（企画課：佐藤流域対策幹）

檀田遊水地は、5～10万m³の貯留をすればよいと見ている。土木部で予定している補正予算で、河川改修と流域対策の流出解析を行い、具体的な大きさ等を検討して整合を図る。檀田遊水地の治水以外の具体的利用方法は決まっていない。

河川改修を先行するとしているが、ため池、水田の地権者との話が進めば、河川改修と平行して実施していく。20～30年というのは、遅くもという意味である。

・回答（浅川：豊森所長）

中流部で雨水、排水等が浅川へ流入しているが、本川の流域の排水計画では、大きな面積を占めておらず影響はないと考えられるが、流域対策についての意見等を踏まえながら、検討していきたい。

住民との約束については、今後の個々の話し合いの中で、検討していきたい。

・質問（137金井会員）

檀田の遊水地では、5～10万m³との回答があったが、ダムの場合は、100万m³を貯めると県から説明があった。それと比較して1割足らずの遊水地で良いか心配である。遊水地は、洪水の調節や土砂の流出防止を行うものと思っている。

・回答（企画課：佐藤流域対策幹）

旧ダム計画では、ダム1箇所ですべて100m³/sをカットする計画であったが、流域対策として上流のため池、河道内の遊水地、檀田の遊水地、田子川合流点等に分けて流域対策を実施するため、規模が小さくなる。

・意見（137金井会員）

災害が起きないように、洪水の調節や土砂の流出防止を技術的に考えて頂きたい。

・意見（8中沢会員）

この秋、他力橋付近の河床整理を行い、見違えるようになった。住民の皆さんが土砂の流出を心配するのは、これまでの河川の維持管理が出来ていなかったからだと思う。河川改修によって、特に土砂が貯まりやすい場所があるが、砂防施設等を造るよりも、貯まったら丹念に採ってほしい。

・意見（3山岸会員）

立木伐採が、オリンピック競技施設で、5,500本、浅川ダムで、67,000本、京急ゴルフ場は不明とのことであり不満であるが、私の計算では、20万本も成木が切られている。これを直ちに、広葉樹などを植樹すれば、保水能力は上がってくるであろうと思う。森林も整備すれば、土壌が豊かになり、洪水に対する機能が高まる。また、土砂流出も防ぐことができる。森林は洪水緩和機能をもっているのだから、緑のダムは自信をもってやってもらいたい。

飯綱高原のスキー場には、大駐車場が3面、飯綱東側に4面ある。この駐車場を浸透性

にすべきである。

遊水地について、三念沢合流部右岸、田子川合流部右岸、新幹線車両基地周辺を調査した結果、新幹線車両基地を除き約173haある。貯水の標高を330mとして計算すると、約280万m³貯めることができる。S61年9月の溢水量は250万m³であり、この遊水地によってかなり解消できると思う。

千曲川の問題（浚渫、立ヶ花の開削）については、国土交通省へ長野市、長野県が積極的に働きかけをして頂きたい。

・回答（林務課：後藤課長）

有効貯水量（90mm～130mm）の数値は出ているが、はっきり確信のある数値ではない。森林の保水力は、地形、地質、土壌の深さ等により異なるため、正確な保水力の数値化はできない。

・回答（長建：児玉所長）

遊水地の提案があったが、内水の問題、外水の問題を分けて考えなければならない。提案の場所は良い場所であるが、内水対策と外水対策では、効果が違ってくる。今後、検討していきたい。

・意見（3山岸会員）

遊水地の案は、後で提出するので検討願いたい。森林の効果について、過少評価しすぎである。長野県は森林を評価し、森林を整備しようとしている。確信をもってやって頂きたい。

提案した遊水地は、税金対策、災害時における農作物の価格補償を行い、地権者の納得を得る事が大事である。

・質問（6竹内会員）

水田貯留の方法について、畦を嵩上げするのではなく、畦シートを設置すれば安くできる。また、浅川流域の全ての水田に貯留すれば、相当の量が貯められる。

現在、検討している遊水地の貯留量は、私案では約21万6,000m³である。浅川の第 区間から第 区間の堆砂量は、約16万m³である。この堆積土を採ることにより、1秒間に流れる量になる。遊水地を造るよりも、堆積土を採る方が流れやすい。遊水地を造っても、浅川の土砂を採らなければ意味がない。

・回答（土地改良課：市川課長）

畦畔シートを使っている水田や畦畔ブロックを使っている水田がある。また、圃場整備を行った水田については、20cm～30cmの畦畔になっている。このため、全ての水田を嵩上げする必要はない。

提案している水田の排水構造について、排水柵の模型で説明。

・質問（12清水会員）

畦シートの幅（高さ）はどの位の物を使うか伺いたい。

・回答（土地改良課：市川課長）

畦畔シートの高さは、30cm、45cm等、色々な高さがあるが、場所により異なるため、現地を確認しながら工法を決めていきたい。

・意見（12清水会員）

一般的に畦畔シートは25cmを使っているが、畦畔シートを高さ、厚みに応じて注文できる。十分に検討して頂きたい。

・回答（浅川：豊森所長）

河床部の堆積について、第 区間は、護岸工が未整備であり、今後整備する箇所である。県で示した計算は、土砂を採った後の流量で、1/50確率を確保したいと考えている。浅川の土砂を採れば、遊水地は必要ないとの提言と思うが、土砂を採って、河川としての計画断面が確保でき、更に1/100確率の増加分を遊水地で補う考え方であるので、遊水地は必要と考えられる。

・意見（6竹内会員）

遊水地は造ってもらいたい。遊水地を造ったとしても、1/50確率の河川断面に対して、断面が半分(53%)しかない。遊水地を造る前に、河川の堆積土を採ってもらいたい。

・意見（54山岸会員）

信越線から浅川の三念沢合流点付近右岸に遊水地を造ってはどうか。また、災害時の補償等の対応について伺いたい。

・回答（企画課：佐藤流域対策幹）

遊水地は、田子川合流点付近へ計画している。使い方として、通常は農地として利用し、洪水時に遊水地として利用する。また、公園や運動場として利用することも考えられる。今後の利用方法(買収、補償等)については、話し合いの中で決まってくる。

・意見（93山崎会員）

南浅川合流点付近に沈砂池が必要である。河川に貯まった土砂を丹念に採る事はできないと思うので、上流1箇所に沈砂池を造り、1箇所から土砂を採る方法が良いと思う。猫又池改修の工事を早く進め、常時、水を流すことにより、浅川の水が綺麗になる。

・回答（長建：児玉所長）

土砂対策は、前回は意見があった。土砂対策について県で策定し、方向性を示す必要があると考えている。なお、上流地域で土砂を抑える方法として、砂防堰堤、床止等がある。

上流に砂防施設を造っても、洪水時には土砂が流れ、河川に土砂が貯まるため、計画的な河川の浚渫は必要である。

沈砂地は砂防堰堤と同じである。この砂防堰堤の土砂が取れば、沈砂池としての役割が果たせる。今後検討していきたい。

・意見（115大内会員）

協議会に提案しているが、コンクリートでなく、間伐材を使ってもらいたい。（スライドを用い、間伐材の工法について説明。）水田の嵩上げも、カラ松の間伐材の利用は可能。

・意見（158芋川会員）

平成12年から河川愛護モニターをやっている。千曲川の浚渫（砂利採取）を要望したが、やって頂けなかった。

美和ダムの堆砂は、トンネルで排砂している。また、奈川渡ダムも100年計画の堆砂を予想していたが、堆砂が著しい。宇原川（須坂市）災害等の土石流災害は、針葉樹林が原因である。

広葉樹は、石の上にも育つことや、水を貯める機能をもっていることから、浅川の上流へは、広葉樹へ樹種変更していくべきである。

・意見（27内山会員）

過去何十年に渡って、県、市には行政責任がある。

県は、飯綱別荘地の開発を県（企業局）でやってきた。浅川ダム計画を住民の知らないうちに進め、ダム予定地の立木を伐採をした。木を伐採して自然保護研究所を造った。

市は、木を伐採して市営スキー場を造り、浅川に負荷をかけた。ポプスレー会場の木も切った。京浜急行ゴルフ場の造成。三ツ出地籍に産業廃棄物の埋め立て処理場を許可した。

提案として、水量や土砂量を減らすには、市営スキー場を全廃し、自然を復元してもらいたい。ポプスレー（スパイラル）を撤去し元に戻す。駐車場も浸透は不可。木を植えて元に戻すことである。次回の協議会までに長野市から回答願いたい。

・質問（22鷺飼会員）

次回に遊水地の場所、私有地の基準、契約制度、遊水地の管理方法等フローチャートを作成してもらい、次回提示願いたい。

・回答（企画課：佐藤流域対策幹）

遊水地は、特別な管理はせず、管理者の手をわずらわせない構造とする。具体的な場所が決まれば、地権者との契約として、「権利を設定した契約」、「作物被害の補償する契約」、「用地の売買契約」が考えられる。

・意見（22鷺飼会員）

場所を決めるにしても、補償をするにしても、基準を決めてもらいたい。

・意見（4小林会員）

南浅川の合流点から上流は、地すべり等の関係の問題が多いため、水を貯める様な施設は造るべきでない。下流部の洪水の原因は、上流部にあるのではない。上流の集水面積は、浅川全体の23%であると聞いており、上流へ施設を造る必要はないと思う。前回、長野市から砂防堰堤の利用について意見があったが、上流へ水を貯めることはやめてもらいたい。水田を潰して宅地化（500ha）をしてきた。天井川を解消すれば、中、上流の解決はできる。浅川の問題は、土砂や下流の内水問題と千曲川である。

提案として、側溝の浸透、用排水のため池、長沼土地改良区の用水の改修を検討してもらいたい。

・佐藤議長（座長）

今回のテーマとして、内水問題と千曲川との関係について議論したいと思っている。

・質問（15持田会員）

今日は、流域対策について議論しているが、結論が早いと思う。ため池の管理者、地権者、市民等に対する対応をどうしていくか伺いたい。大池の大改修時にも苦労したが、ため池の嵩上げに不安を感じている市民がいる。

・回答（長建：児玉所長）

川を整備するのは、国の認可を得なければならない。事業を進めるに当たり、10月中に一定の方向性の提言を頂くことをお願いしたが、遅くとも、素案を年内に作って参りたい。

・回答（長建：佐野技師）

河川整備計画の概要について、パワーポイントにおいて説明。

・意見（10峯村会員）

遊水地によって、水害を防ぐようお願いする。私共は、補償金をもらいたいのではなく、水害を防いでほしい。天災は補償しないと教え込まれてきた。長野県だけが補償することは、許されるのか疑問である。買い上げて公の遊水地を造り水害から守ってほしい。

・意見（15持田会員）

対政府でなく対地主や管理者に話しをしなければならない。ため池については、組合、下流の人々へ説明するのが先だと思う。

次回予定

・佐藤議長（座長）

次回日程 10月27日（月）14:00～17:00 古里公民館（予定）

テーマ：内水対策及び千曲川の関係について

・意見（8中沢会員）

千曲川の問題について議論するため、次回、横断図（立ヶ花～古牧橋）水面勾配、排水ポンプの構造がわかる図面を提示願いたい。

・意見（12清水会員）

千曲川の堆砂状況も提示願いたい。